

事業報告書

学校名 沼津市立大岡南小学校

1. 研究科目(領域)と主題

研究領域・・・地域(環境)

主題 「自己課題を持ち、支え合い、ねばり強く追求する子を目指して！」

—— 子供の思いが連続する課題作りを通して ——

—— 自己評価を生かした活動ができる子を目指して ——

2. 実践の概要

(1) 総合的な学習を通じた学年ごとの活動

本年度は、総合的な学習において育てたい力を明らかにし、児童の関心や興味をもとに課題を決めて、活動した。

3年生・・・「ケナフで遊ぼう」という活動テーマで、ケナフを育て活用することを通して、自分の身近な環境を見つめ直していく実践をした。

ケナフを観察しながら、自分の課題について調べ、紙やクッキー・炭作りなども体験した。まとめたことは4年生や保護者に発表した。

4年生・・・「再発見 すてきな大岡」を活動テーマに、前期は、大岡公園のよいところをや知らせたいことを見つける活動を行った。後期は、大岡公園でできる遊びを考え、凧作りを行った。さらに、もっとすてきで便利な大岡公園にするための「夢の公園」作りを考え、自分たちが大岡公園とどう関わっていくか考えていった。

5年生・・・社会科や家庭科との関連から、「おいしいお米を作って食べよう」を活動テーマにし、地域の方の田を借りて、田植えや稲刈りを体験しながら、米に関する自己課題を追求し、互いに発表し合った。後期は、「豊かな地球を作るために」を活動テーマに、地球は今どんな問題があるか考えて個人のテーマを設定し、図書室の資料やパソコンを活用して追求し、意見発表会を行った。

6年生・・・「わたしのこだわり大研究」を活動テーマにし、各自の興味や関心をもとに個別課題を立て、実際の体験活動も取り入れながら、課題追求を行った。調べたことは、新聞・実物や実演・パソコンを使ってなど、さまざまに表現し、パビリオン形式で発表し合った。

(2) 職員のパソコン研修会を月1～2回実施し、調べ学習用の資料作りやデジカメを活用した資料作り、ホームページの更新などを行った。

(3) 毎月発行する学校だよりで、総合的な学習についての取り組みを紹介し、保護者の理解や協力が得られるようにした。

3. 研究の成果

本年度は、実際にケナフを育てたり、米を作ったりなどの体験活動を通して、自分たちの身近な環境や地域について考え、そこから自己課題を見つけ追求する活動ができた。

また、大岡公園をもっとすてきな公園にしようと「ドリームパーク大岡」を考えたり、「豊かな地球を作るために」自分たちはどう関わったらよいか考えたりし、問題意識を持って取り組むこともできた。

さらに、課題追求においては、高学年に進むほど実際のインタビュー、図書室の資料やインターネットの活用、電話や手紙での依頼など、多様な方法を使うことができるようになってきた。

地域の方や保護者の協力をお願いすることも多く、学校での活動を理解してもらうためのよい機会となった。

このような点から、育てたい21の心の「自然を大切にする心」「他者を大切にし他者に学ぶ寛容な心」「真理を愛し、真実を探究する心」「困難に打ち勝ちやりとげる喜びを感じる心」「感動する心」「働く喜びを感じる心」「地域を愛し地域に学ぶ心」などの育成に、大変効果があったと思われる。